NPO法人越谷市郷土研究会　河川史研究倶楽部主催

平成２５年４月４日（木）

大沢町巡検

案内説明者　秦野秀明氏

※辻耕地に含まれる「**上の土橋**」あたりは、特に「**会の谷**」と呼ばれたり、現在の日光街道の北越谷駅入口交叉点南西角に茶屋が二軒（屋号「いづミや」の佐々木茶屋と屋号「大黒屋」の高橋茶屋）見られたので「**茶屋裏**」とも呼ばれたりした。

※「**ビクニ長屋**」の「ビクニ」とは、比丘尼のことで、近くの山伏の家が二・三軒あって、尼法師が多く住んでいたことから由来する。

※「**袴ずれ**」とは、袴のすれ違う程細い野道であることに由来し、浅間社に通じていた。

ゼンリン住宅地図「越谷市」（2006年12月発行）を使用

秦野秀明氏の解説をもとに作成（加藤幸一）

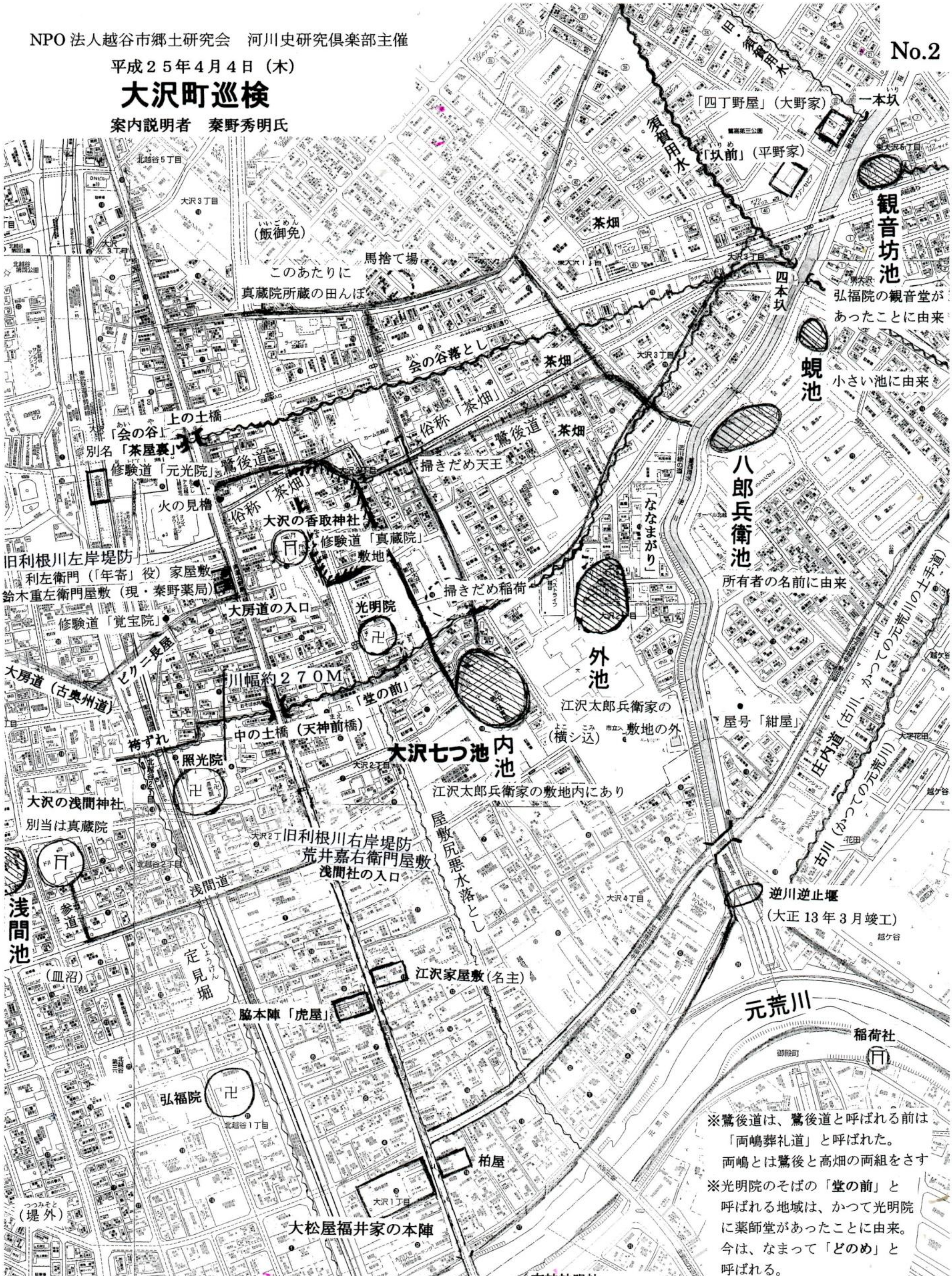
NPO 法人越谷市郷土研究会　河川史研究倶楽部主催

No.2

平成２５年４月４日（木）

大沢町巡検

案内説明者　秦野秀明氏



※鷺後道は、鷺後道と呼ばれる前は「両嶋葬礼道」と呼ばれた。両嶋とは鷺後と高畑の両組をさす

※光明院のそばの「堂の前」と呼ばれる地域は、かつて光明院に薬師堂があったことに由来。今は、なまって「どのめ」と呼ばれる。

ゼンリン住宅地図「越谷市」（2006 年 12 月発行）を使用

秦野秀明氏の解説をもとに作成（加藤幸一）

NPO 法人越谷市郷土研究会　河川史研究倶楽部主催

平成２５年４月４日（木）

大沢町巡検

案内説明者　秦野秀明氏

※「弥蔵堀」は、本来は八郎兵衛池から出る落とし堀をさしていたようである。「大沢町古馬筥」の百廿三の記述の所の略地図の中に内野圦（四本圦）から流れてくる堀に「今是を弥蔵堀と云う」との記載がある。

※「四本圦」は、とても深い淵になっていた。昭和２２年９月のキャサリン（カスリン）台風において、四本圦が決壊し、大沢町を水没させた。その決壊の様子を目撃した人が藤波保雄氏である。なお、この水没から免れた箇所は、微高地のフジナミ金物店・秦野薬局周辺やエドヤ桐箪笥店である。

ゼンリン住宅地図「越谷市」（2006 年 12 月発行）を使用

秦野秀明氏の解説をもとに作成（加藤幸一）